※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１９

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	文学国語　（大修館書店）						
副教材等	大学入試　国語頻出問題１２００［五訂版］（いいずな書店） 古文単語　覚えるぞ　３２１（尚文出版） カラー版　新国語便覧（第一学習社）及び　準拠ワーク 基点◎現代文ゼミ（浜島書店） 速読＋要約＆語彙チェック　１レベル　B（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、主に近現代の文学的文章に触れ、それぞれの作品を通して、「読む力」と「書く力」を身につけましょう。授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動も行います。課題に対し積極的に参加してください。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質や文体の特徴、修辞などの表現技法について理解を深める。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用
※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	想像と共感 ［教材］ 「十八歳の選択」	a:情感の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b:「書くこと」において、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c:自分が文章を通じて伝えたいことを明確にした上で、情感の豊かさや心情の機微を表す語句を用いて表現しようとしている。〃	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
	現代への視点 ［教材］ 「旅する本」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c:登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。〃	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
	語りの世界 ［教材］ 「山月記」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c:文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇をふまえて、作品を読み味わおうとしている。〃	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
二学期	視点を広げる ［教材］ 「月の誤訳」	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。[(1)ア] b:「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:作者のものの見方をとおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。〃	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
	想像を広げる ［教材］ 「山椒魚」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c:作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。〃	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
	記憶の継承 ［教材］ 「こころ」	a:情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b:「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c:登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察
三学期	虚構の可能性 ［教材］ 「アルプスの少女」	a:文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b:「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。 c:舞台設定や時代背景を押さえ、作品の主題について考えを深めようとしている。	記述の点検 定期考査	記述の点検 定期考査	記述の点検 行動の観察

※令和４年度以降入学生用
※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数
・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間
・書くこと　…　（　１５～２０　）時間
・読むこと　…　（　５０～５５　）時間